

技能検定受検案内

秋田県職業能力開発協会

秋田市向浜一丁目2-1

電話 018-862-3510

FAX 018-824-2052

技能検定とは、技能者の皆さんが持っている技能の程度を一定の基準によって検定し、それを公証する技能の国家検定制度で職業能力開発促進法に基づいて実施されます。検定職種ごとに特級、1級、2級及び3級に区分するものと等級に区分しないもの（以下単一等級という）とあり、実技試験と学科試験によって行われます。

技能検定に合格すると、特級、1級及び単一等級は厚生労働大臣名の、2級及び3級は県知事名の合格証書が交付され、法に基づいて「技能士」と称することができます。

技能者の皆さん、自分の技能に自信と誇りをもって、この検定制度を大いに活用しましょう。

技能検定実施日程

項 目	日 程	
実 施 公 示	平成 29 年 9 月 1 日 (金)	
受 検 申 請 受 付	平成29年10月2日(月)～10月13日(金) (午前8:30から午後5:00 土・日及び祝日を除く)	
実 技 試 験	問 題 公 表	平成 29 年 11 月 27 日 (月)
	実 施	平成 29 年 12 月 4 日 (月) から 平成 30 年 2 月 18 日 (日) まで
学 科 試 験	平成 30 年 1 月 21 日 (日)	
	平成 30 年 1 月 28 日 (日)	
	平成 30 年 1 月 31 日 (水)	
	平成 30 年 2 月 4 日 (日)	
合 格 発 表	平成 30 年 3 月 16 日 (金)	

※平成29年度後期より一部の受検者を対象に実技試験受検手数料が減額されます。
(詳しくは4ページを御参照ください)

〈受検申請書の記入例〉

技能検定受検申請書

技能検定を受けたいので申請します。

秋田県知事 あて

平成△年△月△△日

秋田太郎

受付番号

等級区分	1級	検定職種	塗装 建築塗装	試験会場	実技 学
ふりがな	あき た ろう	住所	〒010-1601 秋田太郎 電話 (018) 862-3510	住所	〒010-1601 秋田太郎 電話 (018) 862-3510
氏名	秋田太郎	生年月日	昭和△年△月△△日	生年月日	昭和△年△月△△日
年齢及び性別	△歳 (男・女)	満△△歳		満△△歳	
学歴	〇〇〇〇中学校	学科又は課程	〇〇町△△番地	卒業・中退等	卒業・中退
訓練歴	〇〇〇〇技術専門学校	訓練施設名	〇〇市△△町△△	訓練を受けた期間	△△年△△月～△△年△△月 (XX年XX月)
職歴	〇〇塗装店	地位職名	〇〇市△△町△△	職内	修了・中退
資格	〇〇塗装工業	検定職種	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
技能検定合格状況	2級 塗装 (建築塗装)	合格した年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
既に合格している者のみ記入	等級区分	検定職種	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
カス溶接作業主任者免許証又はカス溶接技能講習修了証 が必要な職種を受検する場合はその取得年月日及び番号 が記入されている者のみ記入	取得年月日	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
資格等	職種又は科目名	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
実技試験合格 8	実技試験合格 8	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
技能取得 6	技能取得 6	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
検定委員 7	検定委員 7	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
学識試験合格 1	学識試験合格 1	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
技能検定合格 2	技能検定合格 2	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
技能照査合格 3	技能照査合格 3	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
指導員免許 4	指導員免許 4	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
試験	実技	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
免除	建築塗装 免除資格のある場合のみ記入して下さい	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退
受検資格判定	建築塗装	取得年月日	〇〇市△△町△△	職務内容	修了・中退

(注意) 記入する前に必ず裏面の注意事項をよく読んで下さい。本枠内には記入しないこと。

(きりはなしてはいけません)

コード番号	職種番号	作業番号	受付番号
受検区分	実技免除	学科免除	コード区分
A	0	0	1
B			4
C			5
D			6

等級区分	1級	検定職種	塗装 建築塗装
試験会場	実技 学	住所	〒010-1601 秋田太郎 電話 (018) 862-3510
氏名	秋田太郎	生年月日	昭和△年△月△△日
住所	〇〇市△△町△△	住所	〇〇市△△町△△
勤務先の名称及び所在地	〇〇塗装店	勤務先の名称及び所在地	〇〇市△△町△△
職務内容	〇〇塗装店	職務内容	〇〇市△△町△△
職務内容	〇〇塗装店	職務内容	〇〇市△△町△△

写真	年	月	日
(4cm×3cm)			
実技	学	科	出
出	出	出	出
出	出	出	出
出	出	出	出

受検票、公表問題等の送付先は原則として本人住所に送ります。				
手数料	試験	学	科	納
実技	納	納	納	納
実技	納	納	納	納
実技	納	納	納	納

受付番号

領収書

〇〇塗装店
秋田太郎様

実技	
学	
科	

技能検定受検料として上記金額を領収いたしました。

平成 年 月 日

秋田市向浜一丁目2-1
秋田県立秋田技術専門学校
職業訓練センター内
(電話) 018-862-3510

秋田県職業能力開発協会長

お知らせ

実技試験問題(公表分)は公表日以降に送付します。また試験の日時、場所等については、決定次第受検票で通知いたします。

※領収書を送付希望の方は、裏面へ送付先を記入してください。

(きりはなしてはいけません)

領収書(控)

受付番号

等級区分	特級、1級	単一、2級、3級
検定職種	塗装	
作業	建築塗装	
氏名	秋田太郎	
住所	(市町村名のみ) 秋田市	
受検料	実技	学
受検料	学	科
平成	年	月
日		

本人確認書類の提出及び 実技試験受検手数料の減額について

平成29年度後期より、受検申請時に本人確認書類の提出が義務付けられました。

受検申請書とともに**運転免許証・保険証・学生証等の本人確認書類の写し**を必ず提出するようお願いします。

同じく平成29年度後期より、平成29年4月1日において35歳未満の2級及び3級の受検者を対象に実技試験受検手数料が減額されることとなりました。

4～6ページの表を参考に受検申請時に、受検申請書をお持ちの上、受検手数料を納付してください。

実技試験受検手数料の減免措置について

平成29年度後期より、平成29年4月1日において35歳未満の2級及び3級の受検者を対象に実技試験受検手数料が減額されます。つきましては下記の表及び5～6ページの表を参照してください。

なお、学科試験受検手数料はどの職種も¥3,100で変更はありません。

詳細については、秋田県職業能力開発協会へ御連絡ください。

(表1)

等級	減免措置区分
特級	年齢に関係なく、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料のとおりです。
1級	
単一等級	
2級	平成29年4月1日において35歳に達している方は、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料のとおりです。
	平成29年4月1日において35歳未満の方は、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料が減免措置により下記の金額になります。 通常 減免後 ¥17,900 → ¥8,900 ¥14,900 → ¥5,900 ¥13,100 → ¥4,100
	平成29年4月1日において35歳に達している在校生の方は、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料が学割により下記の金額になります。 通常 学割後 ¥17,900 → ¥11,900 ¥14,900 → ¥9,900 ¥13,100 → ¥8,700
3級	平成29年4月1日において35歳に達している方は、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料のとおりです。
	平成29年4月1日において35歳未満の方は、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料が減免措置により下記の金額になります。 通常 減免後 ¥17,900 → ¥8,900 ¥14,900 → ¥5,900 ¥13,100 → ¥4,100
	平成29年4月1日において35歳未満の在校生の方は、5～6ページの各検定職種の実技試験受検手数料が学割と減免措置により下記の金額になります。 通常 学割+減免後 ¥17,900 → ¥2,900 ¥14,900 → ¥2,900 ¥13,100 → ¥2,900

(表2) 特級の検定職種

検 定 職 種	実 技 試 験				学 科 試 験		
	手数料	実技試験統一実施日	統一実施の内容	開 始 時 間	手数料	学科試験実施日	開 始 時 間
金 属 熱 処 理	17,900円	平成30年1月28日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)	午後1時15分	3,100円	平成30年1月28日	午 前 10 時
機 械 加 工							
放 電 加 工							
金 属 プ レ ス 加 工							
工 場 板 金							
め っ き							
仕 上 げ							
機 械 検 査							
電 子 機 器 組 立 て							
電 気 機 器 組 立 て							
半 導 体 製 品 製 造							
建 設 機 械 整 備							
婦 人 子 供 服 製 造							
プ ラ ス チ ッ ク 成 形							

(14職種)

(表3) 1級、2級の検定職種

検 定 職 種	作 業	技能五輪 競技職種	実 技 試 験				学 科 試 験		
			手数料	実技試験統一実施日	統一実施の内容	開 始 時 間	手数料	学科試験実施日	開 始 時 間
さ く 井	ロータリー式さく井工事作業		17,900円	平成30年1月14日	実技試験の全部	午 前 9 時	3,100円	平成30年1月28日	午後1時15分
工 場 板 金	機械板金作業*								
	数値制御タレットパンチプレス板金作業*								
機 械 検 査	機械検査作業		14,900円	平成30年1月21日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)	午後1時15分		平成30年1月21日	午 前 10 時
電 気 機 器 組 立 て	シーケンス制御作業								
半 導 体 製 品 製 造	集積回路組立て作業		17,900円	平成30年1月21日	判断等試験(旧要素試験)	午後1時15分		平成30年2月4日	午 前 10 時
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	鉄道車両点検・調整作業								
空 気 圧 装 置 組 立 て	空気圧装置組立て作業		17,900円	平成30年1月14日	実技試験の全部	午 前 9 時		平成30年1月28日	午後1時15分
農 業 機 械 整 備	農業機械整備作業								
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	冷凍空気調和機器施工作業 ※ ○		17,900円	平成30年1月28日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)	午後1時15分		平成30年1月28日	午 前 10 時
婦 人 子 供 服 製 造	婦人子供既製服縫製作業								
和 裁	和服製作作業		13,100円	平成30年1月21日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)(1級のみ)	午後1時15分		平成30年1月21日	午 前 10 時
パ ン 製 造	パン製造作業		17,900円						

(次ページに続く)

- (注) ・ ※印のついているものは、試験当日、労働安全衛生法第61条第1項又は道路交通法第84条に基づく資格証明証等を携帯していなければ、原則として試験を受検することができません。(資格証等の例：ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証、普通自動車運転免許証)
- ・ *印のついているものは、試験当日、労働安全衛生法第59条第3項に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明証等の写しを提示するか又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定の様式により申告していただきます。

検 定 職 種	作 業	技能五輪 競技職種	実 技 試 験				学 科 試 験		
			手数料	実技試験統一実施日	統一実施の内容	開 始 時 間	手数料	学科試験実施日	開 始 時 間
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業	○	17,900円				3,100円	平成30年2月4日	午 前 10 時
か わ ら ぶ き	か わ ら ぶ き 作 業							平成30年1月21日	
配 管	建 築 配 管 作 業	○		平成30年1月21日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)	午後1時15分		平成30年1月28日	
厨 房 設 備 施 工	厨 房 設 備 施 工 作 業			平成30年1月28日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)(1級のみ)			平成30年1月21日	
型 枠 施 工	型 枠 工 事 作 業			平成30年1月14日	製作等作業試験(旧作業試験)	午 前 9 時			
鉄 筋 施 工	鉄 筋 施 工 図 作 成 作 業							平成30年2月4日	午後1時15分
	鉄 筋 組 立 て 作 業								
コ ン ク リ ー ト 圧 送 施 工	コ ン ク リ ー ト 圧 送 工 事 作 業			平成30年1月14日	実技試験の全部	午 前 9 時			
防 水 施 工	アスファルト防水工事作業							平成30年1月28日	午 前 10 時
	合成ゴム系シート防水工事作業								
	塩化ビニル系シート防水工事作業								
	改質アスファルトシート工法防水工事作業								
ガ ラ ス 施 工	ガ ラ ス 工 事 作 業		平成30年1月21日	計画立案等作業試験 (旧ペーパーテスト)(1級のみ)	午後1時15分	平成30年1月21日			
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	機 械 製 図 C A D 作 業	○	13,100円	製作等作業試験(旧作業試験)		平成30年1月28日			
塗 装	鋼 橋 塗 装 作 業		17,900円			平成30年2月4日			
舞 台 機 構 調 整	音 響 機 構 調 整 作 業			平成30年1月31日	判断等試験(旧要素試験)	午後1時15分	平成30年1月31日		

(24 職種 29 作業)

(表4) 単一等級の検定職種

検 定 職 種	作 業	技能五輪 競技職種	実 技 試 験				学 科 試 験		
			手数料	実技試験統一実施日	統一実施の内容	開 始 時 間	手数料	学科試験実施日	開 始 時 間
樹 脂 接 着 剤 注 入 施 工	樹 脂 接 着 剤 注 入 工 事 作 業		17,900円				3,100円	平成30年2月4日	午 前 10 時
バ ル コ ニ ー 施 工	金 属 製 バ ル コ ニ ー 工 事 作 業			平成30年1月14日	実技試験の全部	午 前 9 時		平成30年1月28日	午後1時15分

(2 職種 2 作業)

(表5) 3級の検定職種

検 定 職 種	作 業	実 技 試 験				学 科 試 験			
		手数料	実技試験統一実施日	統一実施の内容	開 始 時 間	手数料	学科試験実施日	開 始 時 間	
造 園	造 園 工 事 作 業	—	後期は学科試験のみの実施となります。				3,100円	平成30年1月28日	午後1時15分
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	17,900円						午前10時	
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	14,900円				平成30年2月4日		午後1時15分	
電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	17,900円				平成30年1月21日		午 前 10 時	
電 気 機 器 組 立 て	シ ー ケ ン ス 制 御 作 業					平成30年2月4日			
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業					平成30年1月21日			
配 管	建 築 配 管 作 業					平成30年1月21日			
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	機 械 製 図 C A D 作 業	13,100円	平成30年1月21日	製作等作業試験(旧作業試験)		平成30年1月28日			

(8 職種 8 作業)

- (注)・実技試験と学科試験両方が免除になる方は上記以外の職種でも受付できます。詳しいことは秋田県職業能力開発協会までお問い合わせください。
- ・実技試験免除で学科試験のみを受検する方は、上記以外の作業でも受付できるものもあります。詳しいことは秋田県職業能力開発協会までお問い合わせください。
 - ・3級の実技試験手数料の()内の数字は、高等学校、専門学校、訓練校の在校生等が3級を受検する場合の実技試験手数料です。

1. 受検申請の手続

(1) 受付期間

- イ. 平成29年10月2日(月)から平成29年10月13日(金)までです。(土・日・祝日を除く)
- ロ. 職種によっては設備等の関係で受付期間中でも受検申請を締め切ることがあります。
- ハ. 受検申込者が著しく少ない場合又は試験場の設備の関係等で、秋田県内での試験を行わないことがあります。
 - ニ. ただし、ロ、ハの場合には、近隣の他県での受検を御案内します。

(2) 提出書類

- イ. 技能検定受検申請書
- ロ. 運転免許証、保険証、学生証等の本人確認書類の写し
- ハ. 実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、その資格を証明する書面

(3) 申請書類の提出先及び手数料の納付方法

～受検申請書に必要な事項を記入し、4～6ページの表に定める実技試験及び学科試験の受検手数料(現金)を添えて秋田県職業能力開発協会又は各地域の技能センターへ提出してください。郵送する場合は、申請書と現金を同封の上、現金書留にて秋田県職業能力開発協会へお送りください。ただし受付期間内の消印のあるものに限り受理します。

なお、実技試験又は学科試験が免除になる場合、免除になる試験の手料は不要です。

(4) 受検申請に関する注意

- イ. 申請用紙の交付～申請用紙は秋田県職業能力開発協会、各地域の技能センター、県立技術専門校等で無料で交付します。郵送を希望する場合は、秋田県職業能力開発協会へお問い合わせの上、申請書をお取り寄せください。

ロ. **申請書の記入方法**～記入にあたっては申請書の裏面の記入上の注意をよく読み、**必ず本人が記入してください。申請書をもとに合格証書を作成しますので、住所、氏名、生年月日などは、略字や俗字を使わずに正確に記入してください。**なお申請書の提出後、住所などを変更したときには直ちに連絡してください。連絡が無い場合、受検票等関係書類が届かない可能性があります。

- ハ. 試験の免除申請～実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、申請書の試験の免除欄に免除資格を正確に記入し、資格を証明する書面(写しでもよい)を必ず添付してください。

なお、試験の免除資格を有することが後日判明しても、試験の免除は受けられませんので注意してください。

- ニ. 受検票、公表問題は受検者御自宅あてに送付します。

- ホ. 受検申請を受理した後は、申請を取消した場合又は試験を受けなかった場合でも、4～6ページの表に定める実技試験及び学科試験の受検手数料はお返ししません。

2. 実施職種・受検手数料

- (1) 特級、1級、2級、単一等級及び3級に区分し、それぞれ5～6ページの表2～表5に掲げる検定職種について、実技試験と学科試験を行います。
- (2) 実技試験及び学科試験の受検手数料は、それぞれ4～6ページの表1～表5のとおりです。なお、実技試験又は学科試験が免除になる場合、免除になる試験の受検手数料は不要です。
- (3) 平成29年4月1日において35歳未満の2級及び3級の受検者は実技試験受検手数料が減額されます。減免後もしくは学割+減免後の実技試験受検手数料になります。

3. 実施期日及び実施場所

(1) 実技試験

- イ. 平成29年12月4日(月)から平成30年2月18日(日)までの間において秋田県職業能力開発協会が指定する日に実施します。ただし、全国一斉に実施する試験の実施日は5～6ページの表のとおりです。実施場所は受検票でお知らせします。

- ロ. 試験問題の公表…実技試験当日使用する問題について、平成29年11月27日(月)に全国で一斉に公表となります。それに伴い、公表日後、順次秋田県職業能力開発協会より受検者御自宅あてに問題を送付しますので、試験当日は必ず持参してください。ただし一部の職種については公表しません。

(2) 学科試験

実施期日は、5～6ページの表2～表5のとおりです。

実施場所は、大館市、秋田市、横手市での実施を予定していますが、詳細は受検票でお知らせします。

(3) 受検票について

受検票については、日時、場所が確定しだい通知します。

12月下旬までに受検票が届かない場合は秋田県職業能力開発協会へ御連絡ください。

4. 合格発表

(1) 県の合格発表は平成30年3月16日(金)です。

(2) 技能検定合格者には県から本人あてに通知するとともに、合格者の受検番号を県庁前の秋田県公告板に掲示します。

また県のホームページ (<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/koyorodo/>) 上にも掲載します。

後日、秋田県雇用労働政策課から合格証書と技能士章が交付されます。

(3) 実技試験及び学科試験のどちらか一方に合格した方は、平成30年3月16日(金)付けで秋田県職業能力開発協会から実技試験又は学科試験の合格通知を送付します。この合格通知書（郵便はがき）は次回以降に受検する際の免除の証明書となりますので大切に保管してください。

(4) 不合格の場合には通知しません。

(5) 簡易開示請求について

技能検定試験の科目別得点は、口頭による簡易開示請求をすることができます。

受付期間 平成30年3月16日(金)から平成30年4月16日(月)

受付時間 午前8時30分から午後5時15分まで（土・日及び祝日を除く）

受付場所 秋田県雇用労働政策課

なお、簡易開示請求は本人以外出来ませんので、受検票及び運転免許証等本人であることを証明するための書類（写真が貼付されたもの）が必要となります。詳細については、秋田県雇用労働政策課へお問い合わせください。

5. その他

●個人情報の取り扱いについて

〈個人情報の利用目的等〉

1. 受検申請に記入いただいた個人情報については、受検票の送付及び合格発表等の技能検定の円滑な実施のために利用します。
2. 関係業種団体が実施する技能検定講習会等、職業能力開発に関する講習会の案内の送付の希望について、受検申請書の下欄の口にチェックしてください。

※ 実施職種にかかる試験概要については、中央職業能力開発協会のホームページを御覧ください。

[URL: <http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/giken.html>]

6. 受検資格

受検資格は、特級、1級、2級、3級及び単一等級別に、職業訓練歴や学歴に応じて定められていますが、原則として検定職種についての実務経験が必要です。

必要な実務経験年数とは受検申請締切日（平成29年10月13日）で受検される職種に関する実務経験の年数のことです。

受検資格の主なものは下表のとおりです。（下表の数字は年数を表しています。）

（単位 年）

受 検 対 象 者 ※1	特級	1 級		2 級		単一等級	3 級 ※6		
	1 級 合格後	2 級 合格後	3 級 合格後		3 級 合格後				
実務経験のみ		7			2	3	0 ※8		
専門高校卒業 ※2 専修学校（大学入学資格付与課程に限る） 卒業		6			0	1	0		
短大・高専・高校専攻科卒業 ※2 専修学校（大学編入資格付与課程に限る） 卒業		5			0	0	0		
大学卒業 ※2 専修学校（大学院入学資格付与課程に限る） 卒業		4			0	0	0		
専修学校※3又は 各種学校卒業 （厚生労働大臣が指定した ものに限る）	5	800時間以上	2	4	0	0	1	0 ※7	
		1600時間以上					5	1	0 ※7
		3200時間以上					4	0	0 ※7
短期課程の普通職業訓練修了 ※4		700時間以上			0	1	0 ※5		
普通課程の普通職業訓練修了 ※4		2800時間未満			0	1	0		
		2800時間以上			0	0	0		
専門課程の高度職業訓練修了 ※4		3	1	2	0	0	0		
応用課程の高度職業訓練修了			1		0	0	0		
長期課程の指導員訓練修了			1		0	0	0		
職業訓練指導員免許取得			1		—	0	—		

(注)※1 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。

※2 学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※3 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

※4 職業訓練法の一部を改正する法律（昭和53年法律第40号）の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律（平成4年法律第67号）の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開訓練（いずれも800時間以上のものに限る。）を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※5 総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※6 3級の技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。

※7 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

※8 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

7. 試験の免除

1 技能検定関係（同一の検定職種に限る。）

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備 考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格	実技の全部	—	—	—	—	※1
	学科試験のみ合格	学科の全部	—	—	—	—	※1
1 級	技能検定合格	—	学 科 の 全 部			—	
	実技試験のみ合格	—	実 技 の 全 部			—	※2
	学科試験のみ合格	—	学 科 の 全 部			—	※2
2 級	技能検定合格	—	—	学 科 の 全 部		—	
	実技試験のみ合格	—	—	実 技 の 全 部		—	※2
	学科試験のみ合格	—	—	学 科 の 全 部		—	※2
3 級	技能検定合格	—	—	—	学科の全部	—	
	実技試験のみ合格	—	—	—	実技の全部	—	※2
	学科試験のみ合格	—	—	—	学科の全部	—	※2
単 一 等 級	技能検定合格	—	—	—	—	学科の全部	
	実技試験のみ合格	—	—	—	—	実技の全部	※2
	学科試験のみ合格	—	—	—	—	学科の全部	※2

※1：特級については、実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては年度終わりまで）有効

※2：選択科目のある検定職種の場合は、同一の選択科目に限る。

2 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。）

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備 考
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得			—	学 科 の 全 部			学科の全部	
応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 実務経験年数	5年	学 科 の 全 部			学科の全部		
		2年	—	学 科 の 全 部			学科の全部	
	—	—	学 科 の 全 部		学科の全部			
専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 実務経験年数	4年	学 科 の 全 部			学科の全部		
		1年	—	学 科 の 全 部		学科の全部		
	—	—	学 科 の 全 部		—			
普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後2年(2800h以上1年)の実務経験		—	学 科 の 全 部		学科の全部		
	—	—	学 科 の 全 部		—			
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了	1級技能士コース		—	学 科 の 全 部			—	
	2級技能士コース		—	学 科 の 全 部		—		
	単一等級技能士コース		—	—	—	学科の全部		
技能五輪県大会における技能証			—	—	実 技 の 全 部		—	
全国身体障害者技能競技大会	実技部門の技能証		—	—	実 技 の 全 部		—	
	学科部門の技能証		—	学 科 の 全 部			—	
都道府県技能検定委員2年以上			—	実 技 の 全 部				

3 他法令等関係

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備 考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者		—	建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部		—	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者		—	建築大工職種に係る学科試験の全部		—	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
東京商工会議所が行う和裁の技能検定	1級の技能検定	—	和裁職種に係る実技試験の全部		—	—	
	2級の技能検定	—	—	和裁職種に係る実技試験の全部	—	—	

8. 受検資格に係る検定職種に関する訓練科、学科及び検定職種に相当する指導員免許

職 種	受検資格に係る検定職種に関する訓練科・学科		学科試験免除に係る検定職種に相当する指導員免許職種
	検定職種に関する訓練科 (主なるもの)	検定職種に関する学科 (及びこれに準ずるもの)	
造 園	園芸サービス系造園科、園芸サービス系園芸科	造園科	造園科 森林環境保全科
さ く 井	さく井科、土木系さく井科	土木科、地学科	さく井科
工 場 板 金	金属プレス科、金属加工系溶接科、板金科、製缶科、金属加工系塑性加工科	機械科	塑性加工科
機 械 検 査	船舶系造船科、機械整備系建設機械整備科、機械系機械加工科、メカトロニクス系メカトロニクス科	機械科	機械科
電 気 機 器 組 立 て	電気・電子系電子機器科、電気・電子系電気機器科、電力系送配電科、電力系電気工事科、通信系電気通信科、メカトロニクス系メカトロニクス科	電気科、電子科	電気科 メカトロニクス科
半 導 体 製 品 製 造	電気・電子系電子機器科、電気・電子系電気機器科、機械系機械加工科	機械科、電子科、電気科	電子科
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	電気・電子系電気機器科、電力系電気工事科、鉄道車両系鉄道車両製造科、鉄道車両系鉄道車両整備科、船舶造船科、設備施工系配管科	機械科、電気科、造船科、自動車科	鉄道車両科
空 気 圧 装 置 組 立	機械系機械加工科、メカトロニクス系メカトロニクス科	機械科	
農 業 機 械 整 備	第一種第二種自動車系自動車整備科、機械整備系農業機械整備科	機械科	農業機械科
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	設備施工系冷凍空調設備科、設備施工系配管科	設備科	冷凍空調機器科
婦 人 子 供 服 製 造	アパレル系洋裁科、アパレル系洋服科 アパレル系縫製科、アパレル系ニット科	被服科、服装科、洋裁科	洋裁科
和 裁	裁縫系和裁科	被服科、服装科、和裁科	和裁科
パ ン 製 造	食品加工系パン・菓子製造科	菓子科、製パン科	パン・菓子科
建 築 大 工	建築施工系木造建築科、建設科、プレハブ建築科、木工科、木型科	建築科	建築科、枠組壁建築科
か わ ら ぶ き	建築外装系屋根施工科、かわらぶき科 建築外装系スレート施工科	建築科	屋根科

職 種	受検資格に係る検定職種に関する訓練科・学科		学科試験免除に係る検定職種に相当する指導員免許職種
	検定職種に関する訓練科 (主なるもの)	検定職種に関する学科 (及びこれに準ずるもの)	
配 管	配管科、設備施工系冷凍空調設備科、金属加工系塑性加工科、板金科	機械科、建築科、造船科	配管科、住宅設備機器科
厨 房 設 備 施 工	配管科、設備施工系配管科	設備工業科	
型 枠 施 工	建設科、ブロック建築科、土木科、とび科	建築科、土木科	建設科
鉄 筋 施 工	建設科、土木科、土木系土木施工科	建築科、土木科	建設科
コンクリート圧送施工	建設科、ブロック建築科、土木科、とび科	建設科、土木科	建設科
防 水 施 工	建築外装系防水施工科	建築科	防水科
樹脂接着剤注入施工	建築施工系鉄筋コンクリート施工科、建築科、塗装系建築塗装科	建築科	
バルコニー施工	建築科、建築施工系プレハブ建築科	建築科	建築科・枠組壁建築科
ガ ラ ス 施 工	建築科、プレハブ建築科、建築外装系サッシ・ガラス施工科	建築科	サッシ・ガラス施工科
機械・プラント製図	機械系機械製図科、電気・電子系電気製図科、配管科、金属加工系溶接科、メカトロニクス系メカトロニクス科	機械科、金属工学科、工業化学科、化学工学科、溶接工学科	機械科
塗 装	デザイン系広告美術科、塗装系金属塗装科、塗装系建築塗装科	建築科、工芸科、塗装科	塗装科
舞 台 機 構 調 整	電気・電子系電子機器科、電気・電子系電気機器科、電力系電気工事科、メカトロニクス系メカトロニクス科	電子科、電気科	

- (注) 1. 検定職種に関する訓練科、又は相当する学科を修めた者は受検資格の短縮になる(9ページ受検資格参照)。
2. 職業訓練指導員の免許を持っていて学科試験の免除を受けようとする場合は検定職種に相当する職種でなければならない。

技能検定参考図書のお知らせ

申込み方法

下記図書を御希望の方は、15ページの申込書に記入のうえ、代金を添えて秋田県職業能力開発協会へお申し込みください。郵送する場合は、申込書と現金を同封し現金書留によりお送りください。

なお、図書のお申し込み期間は下記のとおり取扱いさせていただきますので御了承ください。

取扱い期間 平成29年10月2日～平成29年11月24日まで

○ 技能検定学科試験問題解説集（1級・2級）（秋田県公示職種のみ掲載しております。）

集 別	収 録 職 種	定 価	集 別	収 録 職 種	定 価	集 別	収 録 職 種	定 価
第4集	金属熱処理	2,376円	第7集	切削工具研削 放電加工	2,705円	第18集	建設機械整備	1,620円

○ 新版学科試験問題解説集（1級・2級）

集 別	収 録 職 種	定 価	集 別	収 録 職 種	定 価	集 別	収 録 職 種	定 価
No.1	機械保全 〔機械系・電気系 保全作業 機械系保全作業 電気系保全作業〕	2,700円	No.10	機械・プラント製図 〔機械・プラント製図作業 機械製図手書き作業 プラント配管製図作業〕	2,376円	No.21	電子機器組立て	1,944円
						No.30	建具製作	2,160円
No.2	配 管 〔建築配管施工法 プラント配管施工法〕	3,240円	No.11	機械検査	2,160円	No.31	左官・タイル張り	2,700円
			No.12	機械加工 〔普通旋盤、フライス盤 ボール盤、平面研削盤 円筒研削盤、ボブ盤 数値制御旋盤 数値制御フライス盤 数値制御ボール盤 マシニングセンタ〕	3,240円	No.32	建築大工 畳製作	2,808円
No.33	防水施工 〔ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 シーリング防水工事作業〕	3,024円						
No.3	塗 装 〔木工塗装法、建築塗装法 金属塗装法、鋼橋塗装法 噴霧塗装法〕	3,240円	No.13	造 園	2,160円	No.34	防水施工 〔アスファルト防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ 工法防水工事作業〕	3,456円
No.4	型枠施工	1,620円				No.14	金属プレス加工	2,160円
No.5	鉄筋施工	2,160円	No.16	鉄 工	3,240円	No.36	サッシ施工 ガラス施工	2,916円
No.7	内装仕上げ施工	3,780円	No.17	建築板金	2,808円	No.37	プラスチック成形	3,024円
No.8	冷凍空気調和機器施工 熱絶縁施工	2,700円	No.18	工場板金	3,240円			
No.9	仕上げ 〔治工具、金型、機械組立て〕	2,700円	No.19	めっき ダイカスト	3,240円			

○ 特級技能検定学科試験問題解説集

第101集……機械加工・仕上げ・プラスチック成形

定価 3,240円（税込み）

○ 管理・監督の知識 — 特級技能士のための —

定価 3,888円（税込み）

- ◆ 内容
1. 工程管理
 2. 作業管理
 3. 品質管理
 4. 原価管理

○ 技能検定試験問題集【1級・2級】

問題集4	工場板金（平成20～22年度）	定価	2,484円（税込み）
問題集7	表装（平成20～22年度）	定価	1,836円（税込み）
問題集10	農業機械整備（平成20～22年度）	定価	1,620円（税込み）
問題集12	造園/建築大工/型枠施工（平成22・23年度）	定価	2,160円（税込み）
問題集17	鉄工（平成22・23年度）	定価	1,728円（税込み）
問題集18	防水施工（平成22～24年度）	定価	2,700円（税込み）
問題集19	内装仕上げ施工（平成22～24年度）	定価	2,160円（税込み）
問題集20	めっき/ダイカスト（平成22～24年度）	定価	2,160円（税込み）
問題集23	鉄筋施工（平成22～24年度）	定価	1,620円（税込み）
問題集29	空気圧装置組立て（平成23～25年度）	定価	1,728円（税込み）
問題集30	建設機械整備（平成24～26年度）	定価	2,052円（税込み）
問題集31	機械・プラント製図（平成24～26年度）	定価	1,944円（税込み）
問題集32	機械検査（平成24～26年度）	定価	1,944円（税込み）
問題集33	塗装（平成24～26年度）	定価	2,808円（税込み）
問題集34	電子機器組立て（平成24～26年度）	定価	1,944円（税込み）
問題集35	電気機器組立て（平成24～26年度）	定価	2,484円（税込み）
問題集36	配管（平成25～27年度）	定価	1,836円（税込み）
問題集37	金属プレス加工（平成26～28年度）	定価	1,944円（税込み）
問題集38	プラスチック成形（平成26～28年度）	定価	2,052円（税込み）
問題集39	建築板金（平成26～28年度）	定価	2,052円（税込み）
問題集40	造園（平成26～28年度）	定価	1,620円（税込み）
問題集41	左官（平成26～28年度）	定価	1,620円（税込み）
問題集42	とび（平成26～28年度）	定価	1,620円（税込み）
問題集43	金属熱処理（平成26～28年度）	定価	3,024円（税込み）
問題集44	仕上げ（平成26～28年度）	定価	2,376円（税込み）
問題集45	機械加工（平成26～28年度）	定価	3,456円（税込み）

送 料

郵送希望の方には着払いでお送りします。

申込み・お問い合わせ先

〒010-1601 秋田市向浜一丁目2-1
秋田県職業能力開発協会
TEL 018-862-3510・FAX 018-824-2052

《お知らせ》

下記の問題集については、中央職業能力開発協会 図書センター にお問い合わせください。

TEL 03-3603-8373

1. 特級技能検定試験問題集
2. 3級技能検定試験問題集

《取扱い期間外について》

下記へ直接、申込み・お問い合わせください。

一般社団法人雇用問題研究会 TEL 03-5651-7071・FAX 03-5651-7077

(コピーして使用してください)

技能検定参考図書申込書

書 籍 名	集 別	冊 数	金 額
技能検定学科試験問題解説集 (P.13)	第 集	冊	円
新版学科試験問題解説集 (P.13)		冊	円
特級技能検定学科試験問題解説集 (P.13)	第 1 0 1 集	冊	円
管理・監督の知識 - 特級技能士のための - (P.13)		冊	円
技能検定試験問題集 (P.14)	問題集	冊	円
合 計			円

上記のとおり代金を添えて申し込みます。

平成 年 月 日

氏 名		送付先の指定 (いずれかに○ 印をしてくだ さい)	自 宅 事 業 所
自宅住所	〒 -	T E L	
事業所名		所 属 (担 当 者)	
事業所所在地	〒 -	T E L F A X	

※送付を希望される場合は発送料が着払いとなります。

技能士活用措置

◎ 技能士の活用措置

国の官庁営繕工事に用いられる「公共建築工事標準仕様書」・「公共建築改修工事標準仕様書」では、『技能士（一級技能士又は単一等級の資格を有する者）は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。』とされています。

なお、適用される技能検定の職種及び作業種別は特記仕様書等に記されます。

秋田県においても、「公共建築工事標準仕様書」・「公共建築改修工事標準仕様書」を用い、技能士を活用しています。

建築工事特記仕様書における適用技能士

工事種別	指定職種（検定作業名）	工事種別	指定職種（検定作業名）
鉄筋工事	鉄筋施工	左官工事	左官
コンクリート工事	型枠施工、コンクリート圧送施工	金属工事	カーテンウォール施工、内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
鉄骨工事	鉄工、とび	建具工事	サッシ施工、ガラス施工
ブロック他工事	ブロック建築、ALCパネル施工	塗装工事	塗装
防水工事	防水施工	内装工事	表装、内装仕上げ施工（床・ボード仕上げ工事作業）
タイル工事	タイル張り	石工事	石材施工
木工事	建築大工	造園工事	造園
屋根及びとい工事	建築板金、かわらぶき		

機械設備工事特記仕様書における適用技能士

工事種別	指定職種（検定作業名）	工事種別	指定職種（検定作業名）
配管工事	配管（建築配管作業）	保温工事	熱絶縁施工（保温保冷工事作業）
ダクト工事	建築板金（ダクト板金作業）	空調設備工事	冷凍空調機器施工

◎ 建設業法による活用措置

建設業法では、許可を受けるには営業所ごとに一定の資格を有する技術者や工事現場に配置しなければならない技術者などを規定しており、技能検定の合格者（建設業法で規定する職種に限る。）は、この技術者が必要とする資格を保有している者と認められている。（ただし、2級の場合は3年以上の実務経験が必要となるなど、一定の要件を満たす必要がある場合もある。）

技能検定合格者に付与される資格等

- ◎ **労働安全コンサルタント試験の受験資格**（金属溶解、鋳造、鍛造、金属熱処理、粉末冶金、機械加工、放電加工、金型製作、金属プレス加工、鉄工、建築板金、工場板金、アルミニウム陽極酸化処理、溶射、金属ばね製造、仕上げ、金属研磨仕上げ、切削工具研削、製材のこ目立て、機械検査、ダイカスト、機械保全、電子回路接続、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、プリント配線板製造、産業車両整備、複写機組立て、内燃機関組立て、空気圧装置組立て、油圧装置調整、建設機械整備、農業機械整備、木工機械整備、機械木工、プラスチック成形、強化プラスチック成形（積層成形法に限る。）、建築大工、とび、左官、ブロック建築、コンクリート積みブロック施工、配管、型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工、ウェルポイント施工、化学分析、金属材料試験、産業洗浄）
- ◎ **2級建築施工管理技術検定の受験資格**（鉄工技能士、とび技能士、ブロック建築技能士、エーエルシーパネル施工技能士、型枠施工技能士、鉄筋施工技能士、コンクリート圧送施工技能士、建築板金技能士、石材施工技能士、建築大工技能士、左官技能士、タイル張り技能士、畳製作技能士、防水施工技能士、内装仕上げ施工技能士、熱絶縁施工技能士、カーテンウォール技能士、サッシ施工技能士、ガラス施工技能士、表装技能士、塗装技能士等）

その他、国家試験等の受験資格、一部免除、作業従事許可等数多くの特典があります。

平成29年度
後 期

技能五輪秋田県大会参加案内

技能五輪秋田県大会は青年技能者を対象とした技能競技大会で、国際職業訓練競技大会（技能五輪）に日本代表を派遣するための国内における第1次予選として行われます。

この県大会の成績優秀者は推薦されて全国大会に出場出来ます。

全国大会で優勝した人が日本代表として国際大会に派遣されることになります。

◇ 競技職種

- 機械製図（機械製図CAD作業）
- 電気溶接
- 配管（建築配管作業）
- 電工
- 建築大工（大工工事作業）
- 冷凍空調技術（冷凍空調和機器施工作業）

注、（ ）の作業は技能検定作業名で、2級技能検定受検資格のある人は技能検定を兼ねて参加できます。

- ◇ 参加資格…平成7年1月1日以降に生まれた者
- ◇ 参加手数料…電気溶接、電工は17,900円、その他の職種は減免措置も含めて技能検定実技試験に準じます。
- ◇ 実施期日・受付期間等…技能検定実技試験に準じます。
- ◇ 参加申込手続…技能検定に準じて手続してください。技能検定受検申請書に必要事項を記入し、等級区分欄に「五輪」と朱書して、参加手数料（現金）を添えて提出してください。
- ◇ 技能検定との関係…技能五輪秋田県大会に参加して、技能検定の実技試験と対応して実施される職種について一定の基準以上の成績をおさめると「技能証」が交付され、2級の技能検定を受検するときに実技試験が免除されます。

第56回技能五輪全国大会の概要

- ・開催日程 平成30年11月2日(金)～5日(月)まで(予定)
- ・開催会場 沖縄県那覇市、宜野湾市ほか

受検案内、受検申請書取り扱い窓口(県職業能力開発協会、各技能センター等、公共職業能力開発施設)

●受検案内、受検申請用紙の交付及び申請書類の提出先

秋田県職業能力開発協会	010-1601	秋田市向浜一丁目2-1	(秋田県立秋田技術専門学校 職業訓練センター内)	018-862-3510 (FAX018-824-2052)
鹿角総合技能センター	018-5201	鹿角市花輪字柳田36		0186-23-4330
大館北鹿総合技能センター	017-0043	大館市有浦三丁目6-22		0186-43-2610
北秋田職業訓練センター	018-3312	北秋田市花園町15-1(北秋田市中央公民館内)		0186-62-3872
能代市総合技能センター	016-0122	能代市扇田字柑子畑1-20		0185-58-3068
秋田市職業訓練センター	011-0901	秋田市寺内三千刈321-1		018-863-6408
秋田県建設技能組合連合会	010-0966	秋田市高陽青柳町1-43		018-862-3050
由利本荘市職業訓練センター	015-0011	由利本荘市石脇字田尻30-22		0184-22-3076
大曲地域職業訓練センター	014-0046	大仙市大曲田町3-1		0187-62-1726
横手市総合技能センター	013-0060	横手市条里一丁目1-69		0182-32-5783
湯沢建設技能センター	012-0855	湯沢市愛宕町四丁目1-19	(月・水・金のみ受付)	0183-73-5313

●受検案内、受検申請用紙の交付のみ

秋田県立鷹巣技術専門学校	018-3301	北秋田市綴子字街道下191		0186-62-1626
” 秋田技術専門学校	010-1623	秋田市新屋町字砂奴寄4-53		018-895-7166
” 大曲技術専門学校	014-0052	大仙市大曲川原町2-30		0187-62-2457
秋田職業能力開発短期大学校	017-0805	大館市字扇田道下6-1		0186-42-5700
秋田職業能力開発促進センター	010-0101	潟上市天王字上北野4-143		018-873-3178

●その他 問い合わせ先

秋田県雇用労働政策課 (産業人材班)	010-8572	秋田市山王三丁目1-1		018-860-2301 FAX 018-860-3833
-----------------------	----------	-------------	--	----------------------------------

<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/koyorodo/>

●技能検定に関する問い合わせ先

秋田県職業能力開発協会
〒010-1601 秋田市向浜一丁目2-1
電話 018-862-3510
FAX 018-824-2052
URL:<http://www.akita-shokunou.org/>